

「2018あきた水と緑の森林祭」 が開催されました。

緑の普及啓発を図り、県民参加の森林づくりを推進するため、「2018あきた水と緑の森林祭」が7月7日（土）、美郷町「大台野広場」を主会場に開催されました。

記念式典

式典に先立ち、菖蒲太鼓の演技が披露されました。

当委員会の佐藤理事長の開会宣言に続き、中島副知事の主催者あいさつ、松田美郷町長の歓迎あいさつ、来賓紹介の後、水と緑貢献賞や県産木材利用推進功労者の表彰が行われました。

このあと、美郷町立千畑小学校の児童によるメッセージの朗読が行われ、式典を終了しました。



植樹活動

植樹活動は、旧花岡スキー場跡地にホオノキ（和香木）を150本植栽しました。





緑のふれあいフェア

当委員会では、MV東北秋田緑の少年団の協力を得て、花苗のプレゼントと緑の募金活動を行いました。プレゼントした花苗は、ベゴニア、日々草、ジニアの3種類です。

また展示・体験コーナーでは、クリプトンのインストラクターや森の案内人による森のクラフト教室、woodyさんないでの木工体験、木育コーナーのつみ木などが人気でした。

ステージではご当地キャラクターが大集合。美郷ジャズオーケストラや 2018 みどりの女神トークショーなどが行われました。

また、秋田大学よさこいサークルのダンスも披露され、ゆるキャラとのコラボダンスは見応えがありました。





関係者の皆さん、募金してくださった県民の皆さん、ありがとうございました。